

NO.	期末モニタリング細目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	確認資料等	4月								
						指定管理者の自己評価		所管課評価			改善プラン		所管課確認	
						評価区分	コメント	評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無	時期	内容	対応状況	次年度対応
1	15	毎月	安全安心・危機管理	巡回点検を慎重に実施し、運転異常の早期発見と、事故回避のための設備・部品等の減耗・劣化に対する迅速な対応が実施できたか。	空調設備保守点検報告書 機械設備巡回点検表 毎月の定例会議で評価	B	薬浴(1),(2)共に温度調整が不安定となった館内スタッフにより設定温度のこまめな調整を実施することでクレームを低減した。施工当初よりセンサー取付位置不具合と循環方式不具合等の変更課題があるため今後検討する。	B		無				
2	12	毎月	効果効率的な施設の管理運営	館内を日ごころ清掃で衛生的に保つことを基本としながら、限られた人数で効率的に業務を実施することや、職員の提案を即検討・実施するなど、無駄を省き、効率の良い運営が実践できたか。	現地確認 毎月の定例会議	B	厨房衛生面の向上策としてマスクの徹底着用化開始。応援スタッフにも上記に加えて帽子着用化の徹底。厨房従事者の検便実施し、安全衛生を向上に努めた。	B		無				
3	20	毎月	環境配慮	使わない部屋の消灯、ガスの無駄遣い回避は元より、節水協力の呼びかけ等、客に湯を供給する事業の中で可能な限りの環境配慮が実践できたか。	現地確認 口頭質問 毎月の定例会議	B	照明の消し忘れをスタッフ相互に指摘確認の励行。 外の照度に応じた照明点灯指示を実施。 また窓開けなどにより外気導入を利用して電力削減に努めた。	B		無				
4	17	毎月	サービス向上・利用者増	メニューの再点検・接客マナー向上等飲食で喜んでもらう努力は行ったか、健康教室・落語・カラオケなどの飲食以外のサービスはどうだったか、また、基本的な浴場の快適性に常に注意を払うなど、総合的に集客のための努力は十分だったか。	月例報告による前年度比較	B	・お客様の快適性向上の為、脱衣所のA/Cの暖房冷房を自動切換に変更(日中と夜では寒暖の差が大きい為) ・サウナで倒れたお客様あり、救急車呼んだが大事なくカラオケ室にて簡易布団で少し休んでから帰ってもらった(救急用の敷・掛け布団と枕を用意してあります)	A	サウナで倒れられたお客様にも迅速に対応できており、従業員の危機管理意識の徹底が図られているので、A評価とした。	無				

5 月								
指 定 管 理 者 の 自 己 評 価		所 管 課 評 価			改 善 プ ラ ン		所 管 課 確 認	
評 価 区 分	コ メ ン ト	評 価 区 分	コ メ ン ト	改 善 ・ 指 摘 事 項 の 有 無	時 期	内 容	対 応 状 況	次 年 度 対 応
B	機械室内及び屋外マンホール内蒸気弁の毎週点検実施。 継続的にAED日常点検実施し緊急事態の備えとした。 また利用者で体調不良の方への注意喚起を促すポスター掲示し利用者安全に努めた。	B		無				
B	毎朝礼時に清掃評価実施しスタッフの啓蒙活動とした。 また厨房運用では、スタッフ調理改善策ノートによる改善提案推進した。	B		無				
B	窓開けなど外気空調の徹底に加え、天候状況を考慮して空調機の周引きを小まめに実施。 正面駐車場周りの植栽については、スタッフで可能な部分の剪定を実施。また合せて遊歩道の定期清掃と簡易伐採実施した。	A	東日本大震災以降、節電に関する高い意識が見られ、実績として高い削減率を達成している。 削減率(平成22年度比18.6%)	無				
B	・従来風邪気味でフロントに立つ場合はマスク着用を黙認していたが、お客様に対して感染防止と失礼との点で着用の禁止、風邪または風邪気味の場合は従業員罹患防止も含め休暇を摂るよう指示徹底した。 ・従来のボディソープ、リンスインシャンプーに加え、香りの良い柚子シリーズを追加(左右浴室に1週間交替で使用) ・お客様サービスとしてシャワーキャップに加えヘアゴムが無償サービス開始。	B		無				

6月								
指定管理者の自己評価		所管課評価			改善プラン		所管課確認	
評価区分	コメント	評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無	時期	内容	対応状況	次年度対応
B	夜間駐車場外灯ポールに激突事故を防止するため注意喚起テープを巻き夜間視認性の向上に努めた。バス停廻り(戸吹スポーツ公園前と湯ったり館歩道)除草し利用者の足元安全を確保した。	A	利用者の安全確保のため、具体的な策を検討し、迅速に実行されているので、A評価とした。	無				
B	朝礼時にスタッフ間の作業手順不備を指摘し、再発防止に努めた。また厨房商品廃棄・ロスノートの作成を徹底し可能な限りの無駄の最小化を目指していく。	B		無				
B	大広間・和室は10時間開館時の利用率を常に把握し消灯・空調停止間引きを小まめに実施。エネルギー削減を図った。	A	湿気が多い梅雨時期にもかかわらず、お客様の満足度を下げることなく節電に努めていたため、A評価とした。 削減率(平成22年度比22.7%)	無				
B	・健康枕作り教室開催(不眠の原因の中で枕が合わないのが原因の割合が増えている・・・盛況でした) ・今月健康MENU(岡本栄養士のご指導により)として夏野菜カレーを販売開始(カロリー・塩分等健康的に考えられています)・・・自家製手作り品	B		無				

7月								
指定管理者の自己評価		所管課評価			改善プラン		所管課確認	
評価区分	コメント	評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無	時期	内容	対応状況	次年度対応
B	1時間毎の清掃・点検巡回の他に適宜駐車場の清掃点検と喫煙コーナーの清掃、自販機の点検・ダストBOXの点検を実施。 露天風呂の害虫(蚊、蛭)の駆除の為、露天風呂周りの側溝を清掃し繁殖を防止と害虫駆除用の薬剤を露天に設置した。	B		無				
B	朝礼時に昨日の入館者数及び売上比率、顧客単価を掲示しスタッフ間に掲示して情報共有に努めた。 更に厨房の新品販売数を表示し顧客ニーズの分析の一助とした。	B		無				
B	事務室・更衣室は極力外光を取り入れるよう心がけ 冷房効果改善の為、更衣室南側窓に朝顔・ゴーヤを 植え直射日光を遮断冷房効率改善を試みた。	B		無				
B	・今月からダブルポイントデーを毎週水曜(年間)とし 運用開始(従来は11月2月で家族デー、レディスデー のみで成人男性に対応する日が無く不満が出ていた) ・カラオケ教室開始(全6回)・・・受付開始時から キャンセル待ちが出るほど盛況でした ・八老会向け「清掃工場+戸吹スポーツ公園+湯つた り館(食事+入浴+健康講座)」パックを2組実施 会費: ¥1500。(入館料+昼食+茶菓+講座費)	B		無				

8月								
指定管理者の自己評価		所管課評価			改善プラン		所管課確認	
評価区分	コメント	評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無	時期	内容	対応状況	次年度対応
B	浴室内残留塩素測定を4回/日実施しているが、浴槽内露天での横臥している利用者に注意を払って観察。 体調不良等の事故を未然に防止することに努めた。	B		無				
B	館内マニュアルを見直し効率的な作業の実施と所謂単純ミスの防止の為、順次改定を実施。 今月は朝掃除(大広間、浴室カラオケ室、トイレ)を作成 順次、フロント業務(朝、夜)厨房(朝、夜)改定の予定 全て携帯マニュアル化しスタッフの対応の差をなくすことに努めた。	B		無				
B	全館の空調起動時間をCO2削減、電力費用削減の為、9時30分からに設定。スタッフからの早めの運転要望もあるが、少しでも涼しくする為、厨房換気扇を起動し外気を取り入れにて対応。 また、カラオケ室は利用者不在時消灯。在室時に点灯でエネルギー削減に努めた。	B		無				
B	・団体向け自家製食事対応・・・自家製カレーと自家製ピラフをそれぞれ約40名様に対し2日間提供 ・マッサージ室の織を立て更にわかり易くした。 ・次月からの健康MENU、野菜ラーメン試作	B		無				

9月								
指定管理者の自己評価		所管課評価			改善プラン		所管課確認	
評価区分	コメント	評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無	時期	内容	対応状況	次年度対応
B	アズビル(株)安全審査部による監査を実施。安全面での提案で身長計の向きを変更。(正面に向けて置くとスケールが丁度目の高さの場合、怪我の恐れがある場合があった。)また段差、立ち入り禁止場所等に改めて視認しやすい表示を設置し、利用者安全に努めた。	B		無				
B	植栽の限られた予算での施設を綺麗に保つという観点から朝の開店準備時間内で中庭・露天風呂中庭の除草除去を実施、こまめな清掃を心がけた。館内外の侵入道路の落ち葉清掃も実施し、美観を高めた。	B		無				
B	毎月の電力使用量と料金を事務所に開示し更なる電力量の節減を徹底した但しお客様商売であるから天候に応じた節電を実施	B		無				
B	・八王子市ヘルシーMENU(野菜350)協賛 野菜たっぷりラーメン販売開始 ・酒類自動販売機見直しにより人気商品に入替え生ビール(売価: ¥500⇒安価で美味しさがビールに近い発泡酒に変更 ¥290)飲酒運転防止推進の意味からノンアルコール飲料を拡充した。	B		無				

10 月								
指 定 管 理 者 の 自 己 評 価		所 管 課 課 評 価			改 善 プ ラ ン		所 管 課 確 認	
評 価 区 分	コ メ ン ト	評 価 区 分	コ メ ン ト	改 善 ・ 指 摘 事 項 の 有 無	時 期	内 容	対 応 状 況	次 年 度 対 応
B	11/8休館日に火災避難訓練と救急時の心臓マッサージ方法。AEDの取扱い訓練を実施。また、薬湯のヘドロ状のゴミ除去の為、通常の配管洗浄に加え循環ポンプ入口・出口を高压洗浄実施。浴槽吐出口にも布製フィルタを設置して、浴槽汚れを大幅に削減した。	B		無				
B	厨房ピーク時に対応すべく従来ピークに合わせた人員を配置していたが、再度厨房・フロント業務兼用配置を調整し、いつでも応援が出来るようにして、より効率的な対応を可能とした。10月からは更に効率的な作業を目指して指示系統の一本化を図った。	B		無				
B	昨年度の東北大震災以降の節電・省エネを更に推進しつつ、利用者にも過剰な不便をかけずに心地よく過ごしていただけるよう照明等の点灯箇所の見直しを図った。	B		無				
B	自家製MENUの拡充を意図しおまかせを2回/月の割合でリリース従来の基本MENUも抑えながらお客様の満足度が高まるよう工夫している。	B		無				

11月								
指定管理者の自己評価		所管課評価			改善プラン		所管課確認	
評価区分	コメント	評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無	時期	内容	対応状況	次年度対応
A	中庭夜間にイノシシ出没。庭の泥を振り返し被害が連日連夜発生した。所管殿の指示により振り返り跡を人力で整地するも再々に涉って振り返された。(整地した部分も繰り返し起こされた)利用者安全の為、注意喚起掲示を館内外に設置した。	A		有	12月	イノシシは夜行性で光を嫌うとの事なので中庭、渡り廊下右手にも投光機を設置した	済	要
B	自家製手作り料理は、レシピ通りに製作し商品向上を目指しスタッフ全員で吟味し再度、数人によるコンペ形式で製作。標準レシピを決定とした。利用者からの要望も取り入れ味、ボリューム、価格を総合的に評価し全員の意見を集約し、完成度の向上を図った。	B		無				
B	脱衣所内ユーティリティートイレ内照明、フロアポンプ、ジェットポンプ等開館時間に合わせて運転するよう再度徹底した。閉館22時には逆洗の為に濾過ポンプを除く他のポンプの停止、薬湯の循環ポンプも即時停止するようマニュアルを訂正した。	B		無				
B	・桑の葉使用八王子市名産品の販売開始 桑の葉飴・・・¥300 桑の葉玄米茶・・・¥700 桑の葉ティーバッグ・・・¥1300 ・厨房開放時間帯(14～17時)の限定MENUの補充 も含めて戸吹育成園のパン販売代行開始(無償) ・東京工科大学和太鼓サークル「楽鼓」による和太鼓演奏会開催	B		無				

12 月								
指 定 管 理 者 の 自 己 評 価		所 管 課 評 価			改 善 プ ラ ン		所 管 課 確 認	
評 価 区 分	コ メ ン ト	評 価 区 分	コ メ ン ト	改 善 ・ 指 摘 事 項 の 有 無	時 期	内 容	対 応 状 況	次 年 度 対 応
A	イノシシ被害収まらず、白色・青色LEDの設置に加えて黄色のテープを施設と東側の中庭に設置した。また脱衣所では、ドライヤーの根元のコードがたまたに配線被覆が剥けていることがある為、日常点検追加し利用者安全に努めた。	B	イノシシ被害に対し、検討すべき点が何点かみられたため、B評価とした。	有	1月	イノシシ被害についてはその後も出没が続き対応策が万全とはいえないので、中庭の入り口に電気柵の設置、又は中庭全周を柵で覆うことも検討する	済	要
B	従来からの販売品（ハチバスサブレ等）の扱いに加えて戸吹育成園のパン類も販売代行する様になった為、販売品発注担当を任命し在庫切れ、賞味期限切れ等の事態を避ける体制を構築した。	B		無				
B	・機械室誘引ファンは間欠運転設定としているが冬季期間は屋外温度が零下となることもしばしばなので朝方は強制的にOFFして 節電を図っている ・ガスの使用は厨房のみとなっているが注文を迅速に対応する為に茹で雑器は火を落とさずやっているとお客様に不便を掛けずに且つ環境配慮も必要とな為、毎月使用量データを掲示し意識を高めている。	B		無				
B	Xmas、年末年始MENUとしてチキンバスケット、ネギトロ丼、ガツのねぎ味噌和え、柚子うどん、もつ煮は継続提供。また12月イベントとしてXmas工作教室とアコースティックコンサートを開催し利用者満足度向上努めた。今月の薬湯として柚子湯薬湯を提供。年始は、ダブルポイントサービスを実施して利用者へサービスアップを図った。	B		無				

1月								
指 定 管 理 者 の 自 己 評 価		所 管 課 評 価			改 善 プ ラ ン		所 管 課 確 認	
評 価 区 分	コ メ ン ト	評 価 区 分	コ メ ン ト	改 善 ・ 指 摘 事 項 の 有 無	時 期	内 容	対 応 状 況	次 年 度 対 応
A	救急救命及び上級救命講習会受講(2名)、3月更に1名受講予定。パート受講済2名を加えると湯ったり館内では全5名の受講者数となる。救急路の落ち葉清掃を実施、足元、階段の安全性確保と歩きやすさを確保した。	A		無				
A	1/18女性脱衣所にてお客様転倒し後頭部強打の為、救急車要請した。救急時の事務所への連絡、掛け布団枕等の倉庫からの搬送、救急車の要請を新たに導入したトランシーバー効果的に使用し迅速に対応。2月にも浴室内でののぼせと思われる失神状態のお客様に対して救急車の要請した。救急対応と事務所との連携をトランシーバーを使い迅速に実施出来た。	A		無				
B	より省エネ性能で且つ災害対応自販機の導入を実施。 また、集計日報、日計出納帳は出来る限り裏紙を使用するよう推進中、その他会議資料等も出来るだけ裏紙使用を推進し環境配慮をスタッフ全員で心がけた。	B		無				
A	1/26拓殖大学落語研究会の出演で湯ったり館新春客席を開催・・・3名の出演で漫才、落語3話の計4演目演じ盛況であった。食堂運営では、おまかせMENUとして「もつ煮込み」に続き「ホルモン焼」、「かつ焼」、「ラーメンガサ」を提供し顧客へのサービス向上に努めた。	A		無				

2月								
指定管理者の自己評価		所管課評価			改善プラン		所管課確認	
評価区分	コメント	評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無	時期	内容	対応状況	次年度対応
B	修繕として露天1(左側)の目隠壁造り替え実施。 築10年を越え風雨による老朽化に加えて昨年の台風の強風により倒壊寸前の状態であった。また駐車場の白線ライン引き直し実施し駐車場内での事故防止に努めた。脱衣所の排煙窓清掃と共に作動確認点検実施。 左右の露天に害虫(トビムシ)が数度発生したが何れも駆除対応実施した。	B		無				
B	昨年からフロント⇄厨房勤務を交番制にし両方の勤務を専業ではなくどちらも従事可能としシフトの円滑化と余分な人員の最適化を進めてきていたが、更なる効率化のため、土休日の運番にフロント⇄厨房兼用職種を設定厨房のピーク対応とその他の不慮の事故等に(浴槽内での救急対応など)対応できる体制強化した。	B		無				
B	省エネ電気料金圧縮の為、下記を実施改めて徹底。 脱衣所トイレのオープン前消灯。大広間はお客様の入館時には消灯昼食時にも着席具合に応じて小まめに点灯、消灯を実施 吹き抜け照明は西陽の入り具合に応じて全消灯、半点灯、全点灯を実施。平日カラオケ室は事務所のITVモニターを小まめに監視し不要の場合消灯。	B		無				
B	食堂アンケート2月に引き続き継続。お客様の嗜好と健康に資するMENUとして「おまかせMENU」を毎月1日、15日にリリースするよう制度化実施(ラーメンサラダ、チーズカレー丼を販売。)利用者に飽きのこないように努力した。健康MENUは肉じゃがが定食を販売して食における健康増進を努めた。	B		無				

3月								
指 定 管 理 者 の 自 己 評 価		所 管 課 評 価			改 善 プ ラ ン		所 管 課 確 認	
評 価 区 分	コ メ ン ト	評 価 区 分	コ メ ン ト	改 善 ・ 指 摘 事 項 の 有 無	時 期	内 容	対 応 状 況	次 年 度 対 応
A	・薬湯の熱交換器を覆っている火傷防止用木製のすのこは永年の使用に対し腐り方が激しく修理しながら使用してきたが限界に達してきたため、左右の薬湯のすのこ修繕を実施。従来腐った木片などがわずかではあるが湯内にゴミのように散乱した事、又営業終了後の清掃時にも取り外しに細心の注意を払いながら作業をしていたがこれで通常作業となった。 ・お客様から指摘の浴室天井・壁面のヒビ割れは建築課殿の調査の結果問題無し。	A		無				
A	・定時の脱衣所清掃時の項目の徹底と追加により更に清潔度の向上重点項目として浴室から脱衣所へのマット清掃、渡り廊下汚れ点検清掃、浴室前室の清掃及び鏡の曇り除去を実施。 ・厨房手作り新商品開発はスタッフのアイデアを持ち寄り計画的に開発・商品化している 開発商品：モツ煮込み、ガツ炒め、ゴマ豆腐、もやし炒め オープンサンド、すき焼き丼	A		無				
B	電動ジェットタオルは大広間前のトイレと各脱衣所内多目的兼用トイレに設置されているが最近点検したところ風圧に加えて温風用ヒーターも使用していた。脱衣所は着替え時に裸になるので常時快適な温度にしてあり特段に温風として加熱する必要はないので今後ヒーターは常時OFFする事とした。	B		無				
B	某サッカースクールの試合時の食事処と入浴場所として大人・小人合わせて47名を2日間に涉り受入。1日目は湯ったり館手作りカレーを、2日目はミックスフライ野菜添えを供した。 3月のおまかせは「親子丼」(手作り)4月は「赤魚煮魚定食」(冷凍食材を手作り風)にアレンジ+野菜煮物添え 健康MENUは「肉じゃが」⇒「春の散し寿司」を商品化。 いずれも好評だが、利用者に飽きが来ないように適宜メニューの更新を検討。	B		無				

所 管 課 年 間 評 価		備 考
評 価 区 分	コ メ ン ト	
B	火災避難訓練と救急時の心臓マッサージ方法、AEDの取扱い訓練を実施するなど危機管理もできしており、インシペへの対応など、突発的な事態にも柔軟に対応し、お客様の安全な利用に努めたことよりB評価とした。	
B	事業計画に基いた施設管理を行い、館内の衛生状態を良好な状態に保つよう努めたことよりB評価とした。	
A	電気利用量削減に関して、複数の取り組みを行い、環境配慮を意識した取り組み、実績があったため、A評価とした。	
B	ヘルシーメニューをはじめ、利用者の満足度向上のため、事業計画に基いた取り組みが行われたため、B評価とした。	

